

## 目次

### 第1章 人口ビジョン

<b>1. 人口ビジョンの策定にあたって</b> .....	<b>1</b>
(1) 位置付け .....	1
(2) 対象期間 .....	1
(3) 国の長期ビジョン .....	1
<b>2. 人口の動向</b> .....	<b>3</b>
(1) 総人口の推移と将来推計 .....	3
(2) 地区別人口の推移 .....	4
(3) 年齢3区分別人口の推移 .....	5
(4) 年齢別人口構成（人口ピラミッド） .....	6
(5) 自然増減（出生・死亡）の推移 .....	7
(6) 合計特殊出生率の推移 .....	8
(7) 男女別未婚の状況 .....	9
(8) 社会増減（転入・転出）の推移 .....	10
(9) 男女別・年齢階級別の人口移動 .....	11
(10) 転入・転出の状況 .....	11
(11) 自然増減・社会増減のまとめ .....	12
<b>3. 雇用・就業・経済に関する状況</b> .....	<b>13</b>
(1) 産業別就業人口・特化係数 .....	13
(2) 産業別年齢構成の状況 .....	14
(3) 財政の状況 .....	14
(4) 観光 .....	15
(5) 農業 .....	16
(6) 漁業 .....	16
(7) 商業 .....	17
(8) 工業 .....	17
<b>4. 村民アンケート調査結果の概要（村の将来を考える村民アンケート調査）</b> ..	<b>18</b>
(1) 実施概要 .....	18
(2) 主な調査結果の概要 .....	18
<b>5. 将来人口の推計</b> .....	<b>20</b>
(1) 将来人口の各種推計パターンの比較 .....	20
(2) 各種パターンの推計結果（社人研推計準拠との比較（総人口）、年齢3区分別人口） ..	23
<b>6. 人口の将来展望</b> .....	<b>27</b>
(1) 人口の現状と課題 .....	27
(2) 将来人口の目標 .....	28
(3) 目指すべき将来の方向 .....	29

## 第2章 総合戦略

<b>1. 基本的な考え方</b> .....	<b>31</b>
(1) 国の総合戦略との関係 .....	31
(2) 新島村まち・ひと・しごと総合戦略の策定 .....	32
(3) 3つの魅力を確立して新島村を創生します .....	33
(4) 新島村総合計画後期基本計画等との関係 .....	34
(5) 政策目標設定と政策検証の枠組み .....	34
(6) 総合戦略の検証・見直しについて .....	35
<b>2. 国の政策4分野と総合計画との関係</b> .....	<b>36</b>
<b>3. 施策の方向</b> .....	<b>37</b>
<b>第1. 豊かさを享受する「しごと」づくり</b> .....	<b>37</b>
施策① 観光産業の育成・支援 .....	38
施策② 農業の再生と高度化 .....	40
施策③ 漁業および水産加工業の再生と高度化 .....	41
施策④ 商工業の育成・支援 .....	41
施策⑤ 特産品の育成・支援 .....	42
<b>第2. 明るい暮らしのできる「村」づくり</b> .....	<b>44</b>
施策① 移住者の呼び込み .....	44
施策② 庁内各課および村内各種団体等と連携した定住化促進事業の実施 .....	45
<b>第3. 豊かな心をもつ「ひと」づくり</b> .....	<b>46</b>
施策① 出産・子育て支援 .....	47
施策② 子育て環境の充実 .....	47
施策③ 特色ある教育による知・徳・体の向上 .....	48
施策④ きめ細かな支援による平等な学習機会の提供施策 .....	49
施策⑤ 地域に根差した生涯学習機会の充実 .....	50
<b>第4. 快適で安心して暮らせる「村」づくり</b> .....	<b>52</b>
施策① 防災・減災の推進 .....	54
施策② 持続可能な再生可能エネルギー社会への転換 .....	56
施策③ 都市インフラの長寿命化・再構築と公共施設の維持管理の最適化 .....	56
施策④ 行政機能の効率化の検討 .....	58
施策⑤ 健康寿命の延伸 .....	59
施策⑥ 住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備 .....	60
施策⑦ シニア世代の就労促進 .....	62
施策⑧ 地域コミュニティの活性化 .....	63
施策⑨ 光回線導入の推進および活用 .....	63

### 【参考資料】

新島村まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定委員会による総合戦略策定方針・提言等  
(答申内容全文)

# 第1章 人口ビジョン

A decorative graphic consisting of several overlapping circles in shades of teal and grey, with a horizontal grey line passing through the center of the text.



# 第1章 人口ビジョン

## 1. 人口ビジョンの策定にあたって

### (1) 位置付け

この人口ビジョンは、平成26年12月27日に閣議決定された国の長期ビジョンである「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、国および各地方公共団体がそれぞれに人口減少問題を受け止め、住民と認識共有を行い、今後目指すべき将来の方向性を示すものです。

新島村では、平成23年に策定された「新島村後期基本計画」の中でも、人口減少および年齢構成のバランス悪化による将来不安を述べており、そのため、生産人口の増加や少子化対策を様々実施してきました。

以上により、「新島村人口ビジョン」は、新島村の人口分析等を行い、村民と意識共有して持続可能なまちづくりへの効果的な施策を立案する上で重要な指標とするために策定したものです。

### (2) 対象期間

この人口ビジョンの対象期間は、国の長期ビジョンの期間を踏まえ、平成27年度(2015年)を初年度とし、平成72年(2060年)までの45年間としています。

### (3) 国の長期ビジョン

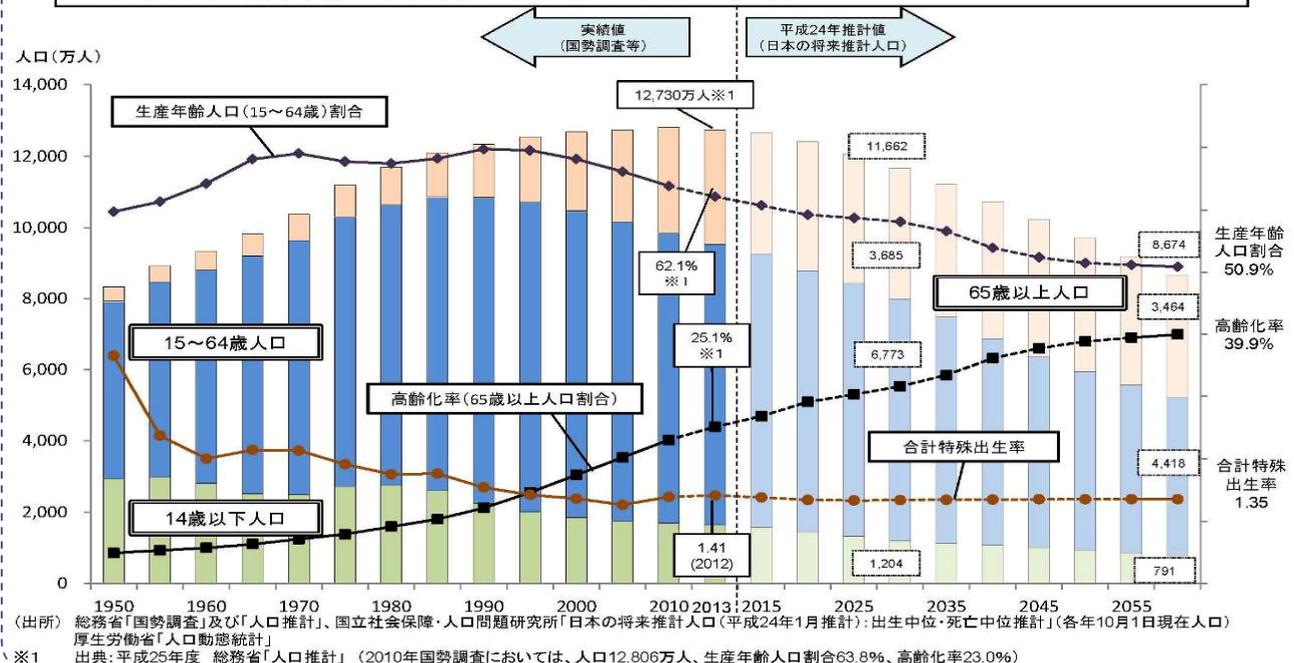
国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の概要は、以下のとおりとなっています。

#### ◆人口問題に対する基本認識

- ・2008年(平成20年)に始まった人口減少は今後加速的に進むこと。
- ・人口減少の状況は地域によって大きく異なっていること。
- ・人口減少は地方から始まり、都市部へ広がっていくこと。
- ◇「東京圏への人口の集中」の課題
  - ・過度に人口が集中していること。
  - ・2020年東京オリンピック開催を控え、今後も東京圏への人口流入が続く可能性が高いこと。
  - ・東京圏への人口の集中が日本全体の人口減少に結びついていること。

### 日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年横ばいであり、人口減少局面を迎えている。2060年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は40%近い水準になると推計されている。



## ◆基本的視点

今後、国は人口減少に歯止めをかける「積極戦略」と、人口減少に対応するための「調整戦略」を同時に推進し、以下の3つの基本的視点から取り組むこととなります。

- ①「東京一極集中」の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

東京都在住者の4割が「移住予定」「今後検討したい」という調査結果を踏まえ、国民の希望の実現に全力を注ぐため、地方への移住の希望に応え、地方への新しい人の流れをつくります。

また、18～34歳の未婚男女の9割が結婚の意思があること、および夫婦が予定する平均子ども数が2.07人という結果を受け、若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現します。結婚の希望実現のためには、「質」を重視した雇用を確保し、安定的な経済的基盤の確保が重要となります。また、「子育て支援」は喫緊の課題であり、男女ともに子育てと就労を両立させる「働き方」の実現が重要です。

## ◆目指すべき将来の展望

今後、目指すべき将来の方向は、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持することです。若い世代の希望が実現すると、出生率は1.8程度に向上し、それにより人口減少に歯止めがかかると、2060年に全国で1億人程度の人口が確保されることが見込まれます。

さらに、高齢化率が2050年をピークに低下し始め、2090年頃には現在とほぼ同水準にまで低下すると考えられます。このように人口構造の若返りにより、「働き手」の増加が経済活動を牽引するなど、経済的に高環境になります。

このように「人口の安定化」とともに「生産性の向上」が図られると、2050年代に実質GDP成長率が1.5～2%程度維持が見込まれます。

## ◆地方創生がもたらす日本社会の姿

- ①自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成
- ②外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図る
- ③地方創生が実現すれば、地方が先行して若返る
- ④東京圏は、世界に開かれた「国際都市」への発展を目指す
- ⑤地方創生は、日本の創生であり、地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし、日本全体を引っ張っていく

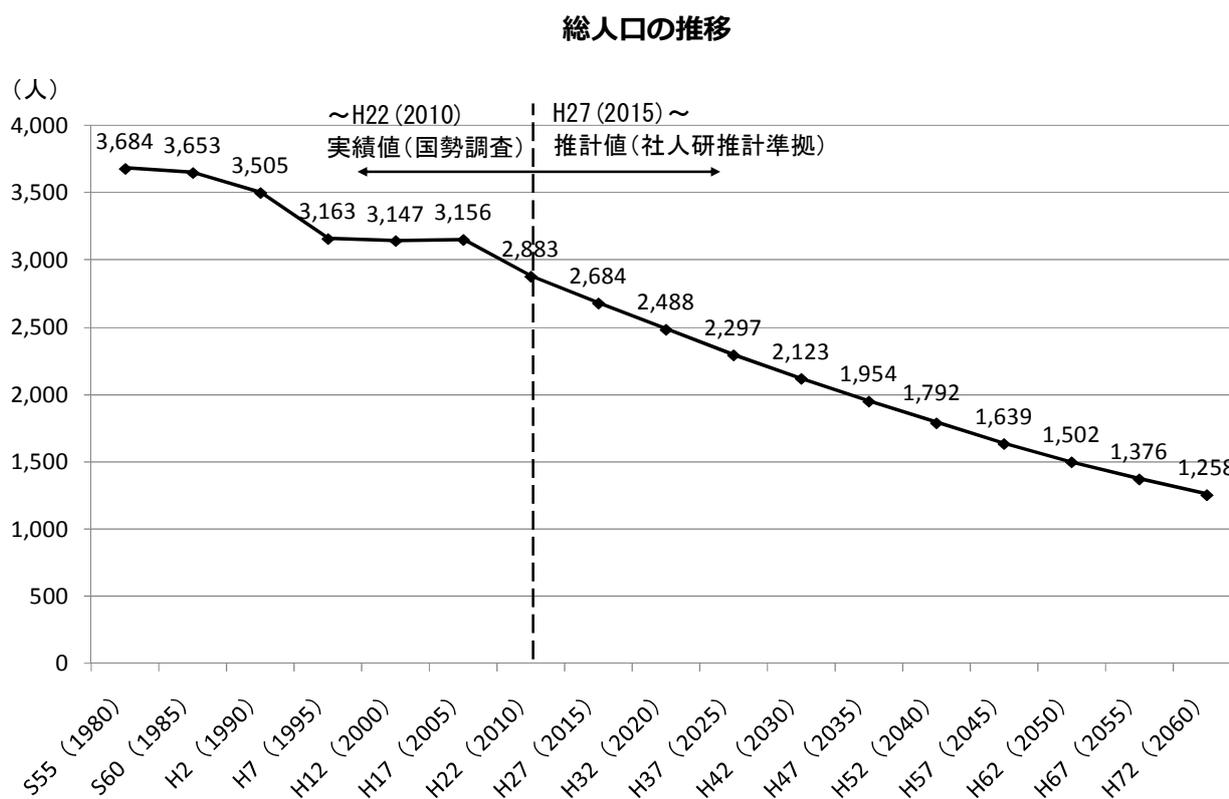
以上を踏まえ、新島村の人口動向などの分析および将来展望を提示します。

## 2. 人口の動向

### (1) 総人口の推移と将来推計

新島村の人口は、平成7年（1995年）に大きく減少し、以降横ばいで推移しましたが、平成22年に再び大きく減少傾向となり、2,883人となっています。

国から提供された資料に基づく人口推計（国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)推計準拠）によると、平成32年(2020年)に2,488人となり、平成52年(2040年)には1,792人、平成72年(2060年)には1,258人(平成22年国勢調査人口と比べ約1,625人の減)まで減少すると予測されています。

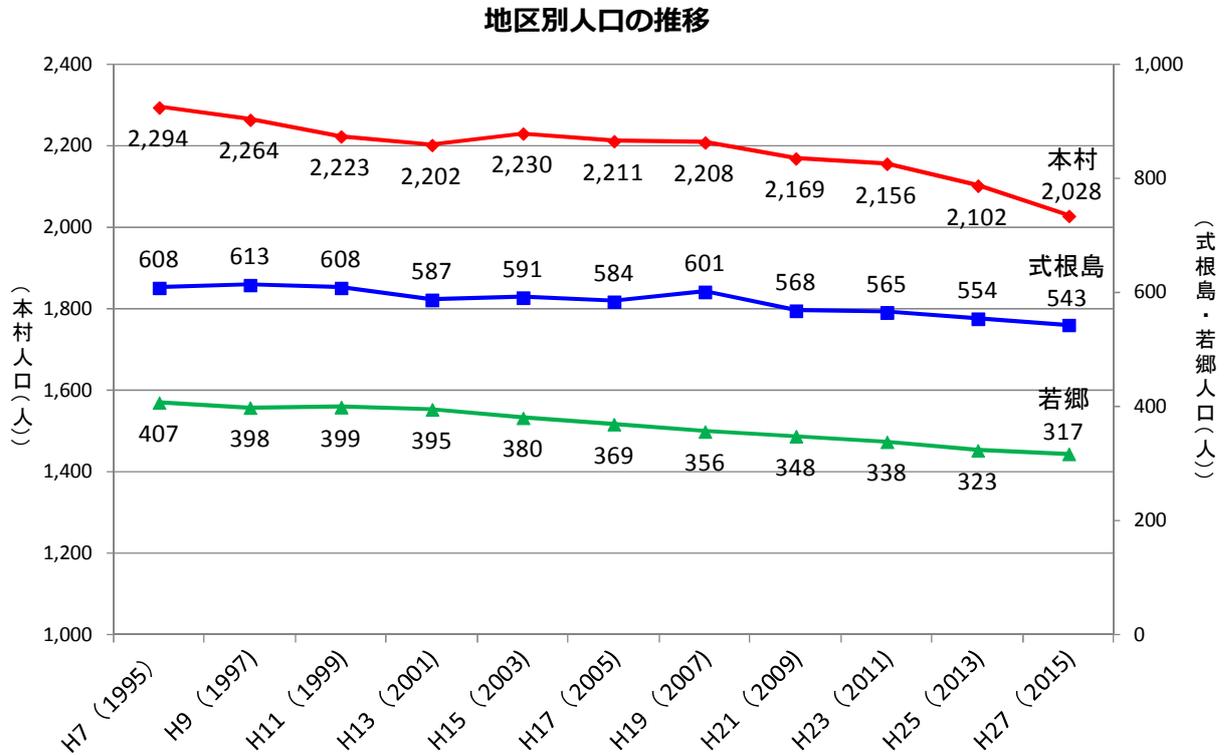


資料：S55～H22 は国勢調査、H27 以降はまち・ひと・しごと創生本部提供資料に基づいた推計  
(国立社会保障・人口問題研究所推計準拠)

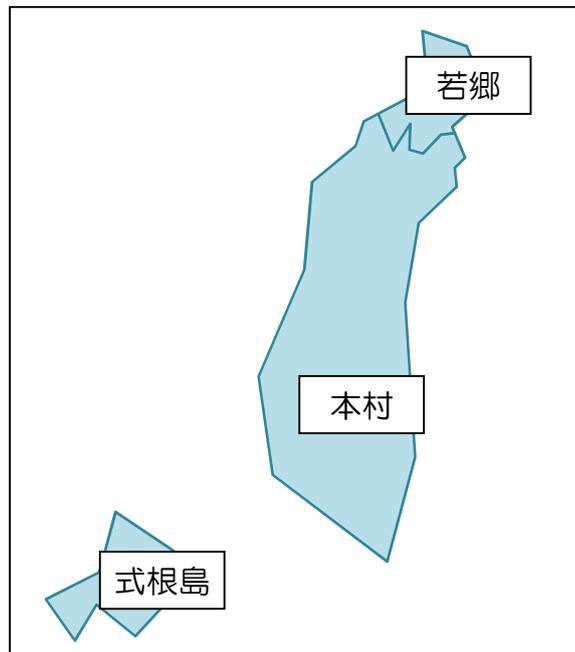
## (2) 地区別人口の推移

平成19年(2007年)以降、すべての地区で人口の減少傾向となり、特に本村で大きく減少しています。

平成7年(1995年)と平成27年(2015年)の人口の推移を比較すると、本村では-266人、式根島では-65人、若郷では-90人の減少となっています。



	H7 (1995)	H9 (1997)	H11 (1999)	H13 (2001)	H15 (2003)	H17 (2005)	H19 (2007)	H21 (2009)	H23 (2011)	H25 (2013)	H27 (2015)	H7とH27 の差	人口比 H27/H7
本村	2,294	2,264	2,223	2,202	2,230	2,211	2,208	2,169	2,156	2,102	2,028	-266	88.4%
式根島	608	613	608	587	591	584	601	568	565	554	543	-65	89.3%
若郷	407	398	399	395	380	369	356	348	338	323	317	-90	77.9%

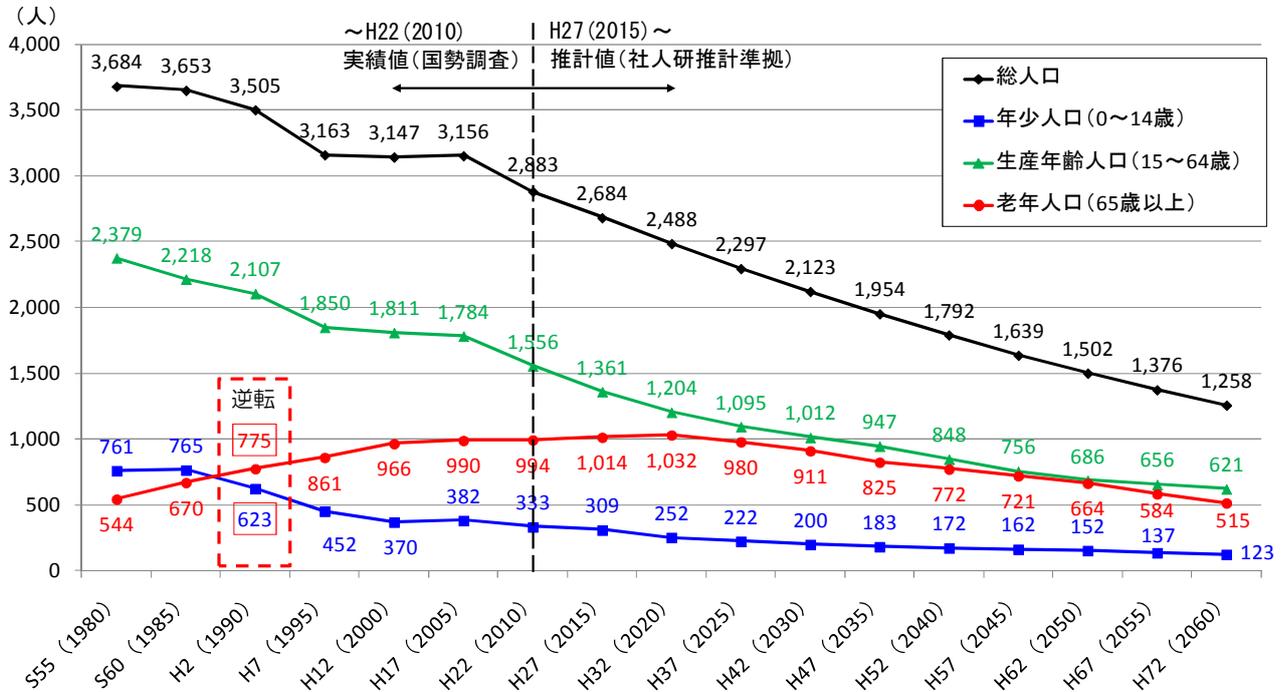


資料：住民基本台帳

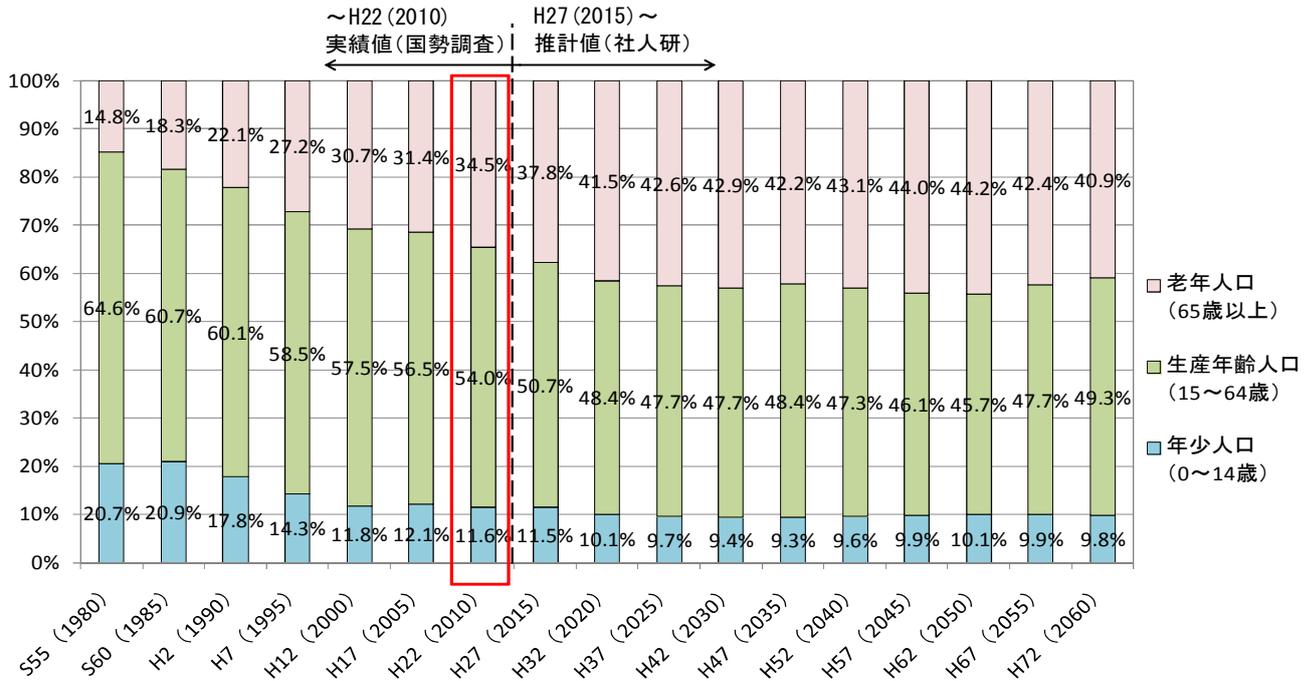
### (3) 年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口は、生産年齢人口(15～64歳)、年少人口(0～14歳)いずれも減少している一方、老年人口(65歳以上)は、平成32年(2020年)頃まで増加すると予測されるため、老年人口割合は4割程度で推移すると考えられます。

年齢3区分別人口の推移

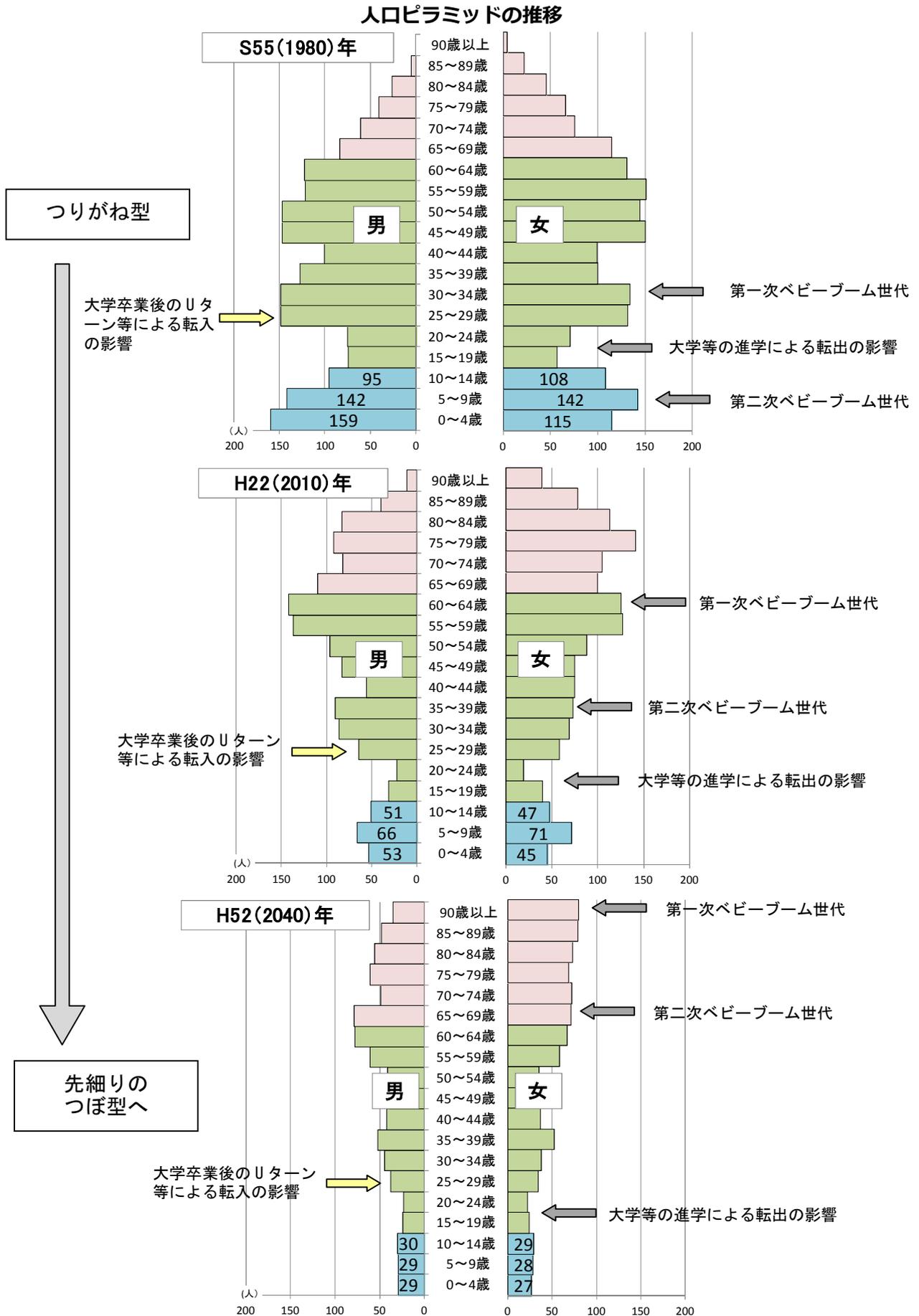


年齢3区分別人口割合の推移



資料：S55～H22 は国勢調査、H27以降はまち・ひと・しごと創生本部提供資料に基づいた推計（国立社会保障・人口問題研究所推計準拠）

#### (4) 年齢別人口構成（人口ピラミッド）



資料：S55、H22は国勢調査、H52はまち・ひと・しごと創生本部提供資料に基づいた推計値より作成  
 (国立社会保障・人口問題研究所推計準拠)